

2011年9月の東北地方の天候

【9月の特徴】

- 二つの台風と前線の影響により多雨
- 月のはじめから中頃までの高温

(1) 2011年9月の概況

この期間、東北北部では台風や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。東北南部では高気圧におおわれて晴れの日が多かった。上旬は台風第12号の影響で南から暖かく湿った気流が入り、東北太平洋側を中心に大雨となったところがあった。下旬は台風第15号が東北地方を通過したため、各県で大雨となった。白河で9月としては月降水量の多い方からの1位の値を更新した(446.5ミリ)。気温は、月のはじめから中頃までは南から暖かく湿った気流が入ったため高くなり厳しい残暑となったが、その後は寒気が流れ込み低くなった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方でかなり多い。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬: 期間の中頃までは台風第12号や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧におおわれて東北南部を中心に晴れて暑い日が多くなった。台風第12号は3日に四国地方から中国地方をゆっくり縦断したあと、6日にかけて日本海を北上した。1日から6日にかけては、台風第12号の影響で南から暖かく湿った気流が入り、東北太平洋側を中心に大雨となったところがあり、気温はかなり高くなかった。3日には秋田、酒田、新庄で日最低気温の高い方からの値の年間の1位を、山形で9月の1位を更新した。また、同じく3日に深浦と酒田で9月としては日最高気温の高い方からの1位の値を更新した。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

中旬: この期間、東北北部は前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった日があった。東北南部は高気圧におおわれて晴れの日が多かった。気温は、南から暖かく湿った気流が入り、高くなかった。20日は前線や台風第15号の影響で各県で大雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。

下旬: 期間のはじめは台風第15号の影響で大雨となったが、その後は高気圧におおわれて晴れの日が続いた。気温は、寒気が流れ込み低い日が多かった。台風第15号は強い勢力を保ったまま21日に東海地方から関東地方、東北地方を通り、22日には千島近海に進んだ。このため21日から22日にかけては各県で大荒れの天気となり、東北南部では記録的な大雨となった。21日には石巻と白河でともに227.0ミリの日降水量を観測し、石巻では日降水量の多い方からの値の年間の1位を、白河では9月の1位を更新した。23日は上空の寒気の影響で、秋田県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方で多い。

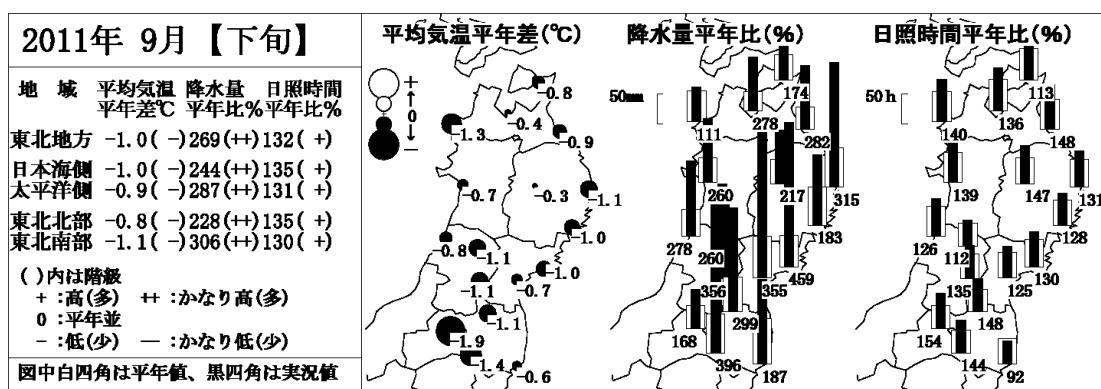
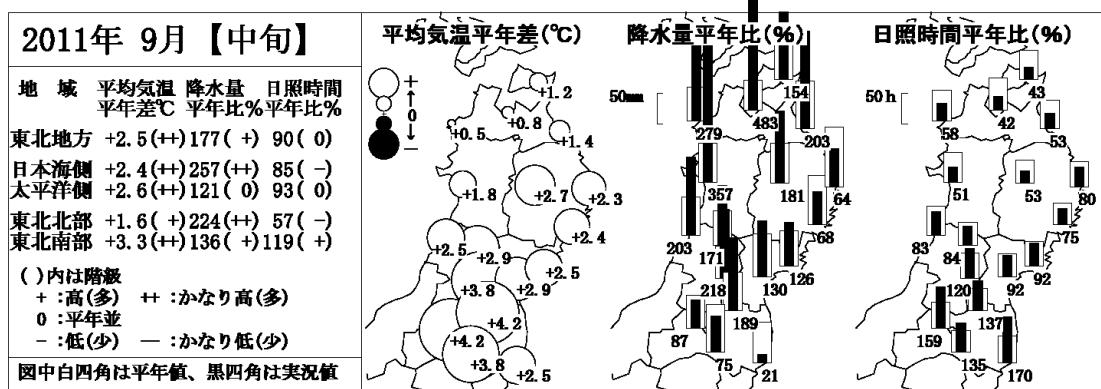
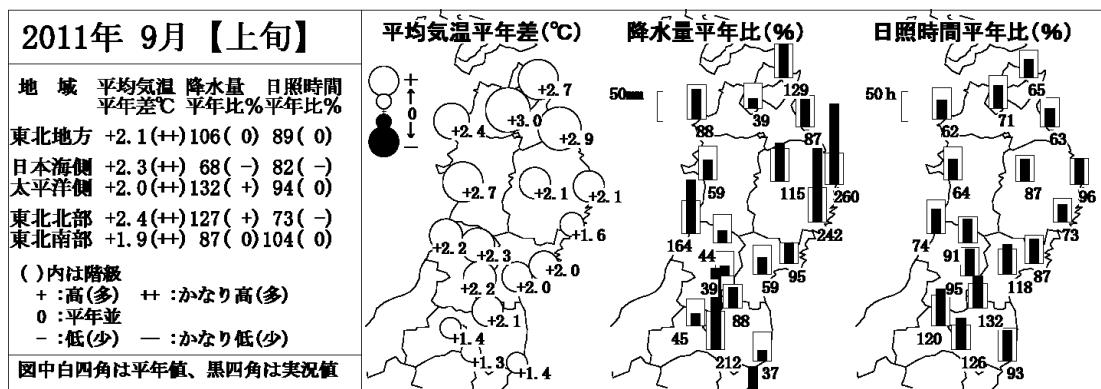
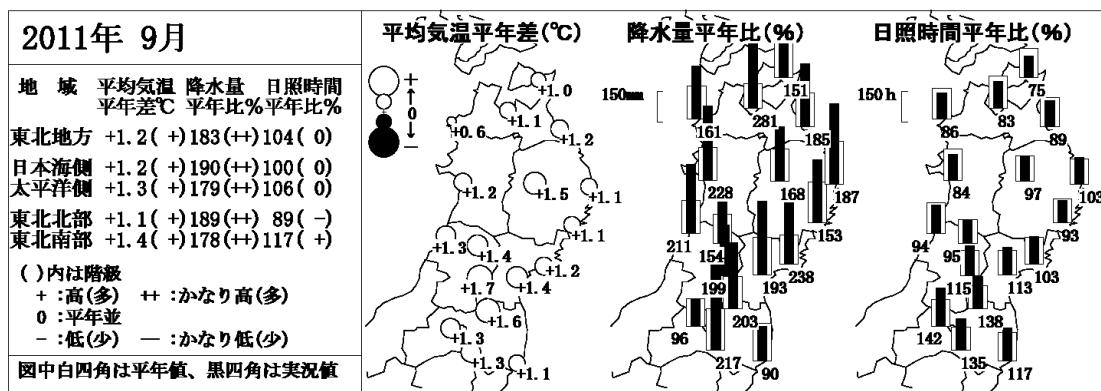
(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1981~2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先:仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係(電話:022-297-8110)

(3) 2011年9月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981~2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2011年9月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	20.4	(+1.1)	+	345.0	(281)	+*	17	131.2	(83)	-
深 浦	19.7	(+0.6)	+	262.0	(161)	+*	14	130.9	(86)	-
む つ	19.3	(+1.0)	+	257.0	(151)	+	14	108.2	(75)	-
八 戸	20.1	(+1.2)	+	310.0	(185)	+*	13	127.9	(89)	-
秋 田	21.6	(+1.2)	+	366.0	(228)	+*	16	129.6	(84)	-
盛 岡	20.2	(+1.5)	+	269.0	(168)	+	16	120.3	(97)	○
大 船 渡	20.6	(+1.1)	+	309.5	(153)	+	12	108.4	(93)	-
宮 古	19.9	(+1.1)	+	400.0	(187)	+*	15	132.4	(103)	○
仙 台	22.1	(+1.4)	+	362.5	(193)	+*	12	136.4	(113)	+
石 卷	21.3	(+1.2)	+	341.5	(238)	+*	6	137.2	(103)	○
山 形	21.8	(+1.7)	+*	252.5	(199)	+*	8	148.6	(115)	+
新 庄	20.8	(+1.4)	+	222.0	(154)	+	13	113.6	(95)	○
酒 田	22.4	(+1.3)	+	341.5	(211)	+*	15	141.9	(94)	-
福 島	22.7	(+1.6)	+*	325.5	(203)	+*	10	158.0	(138)	+
若 松	21.6	(+1.3)	+	131.0	(96)	○	11	187.9	(142)	+
白 河	20.7	(+1.3)	+*	446.5	(217)	+*	12	153.3	(135)	+
小 名 浜	22.6	(+1.1)	+	170.0	(90)	○	8	163.9	(117)	+

(注) 1. 年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ :高い(多い) ○ :平年並 - :低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

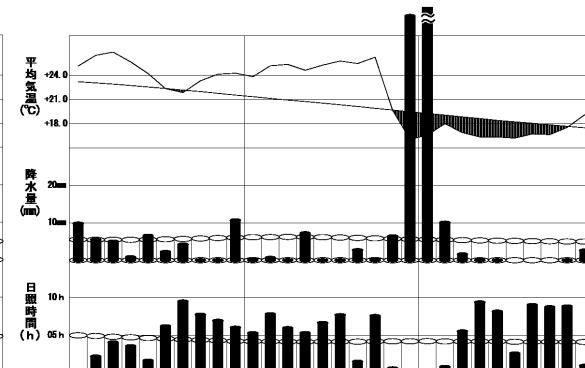
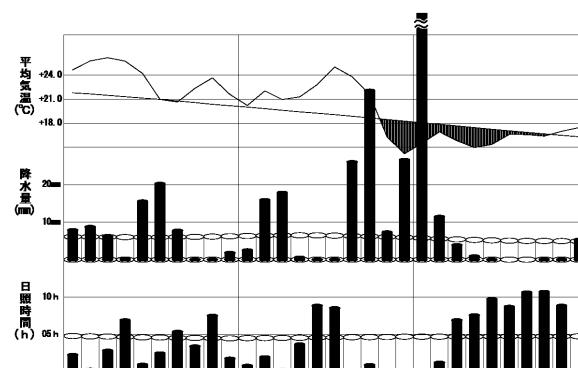
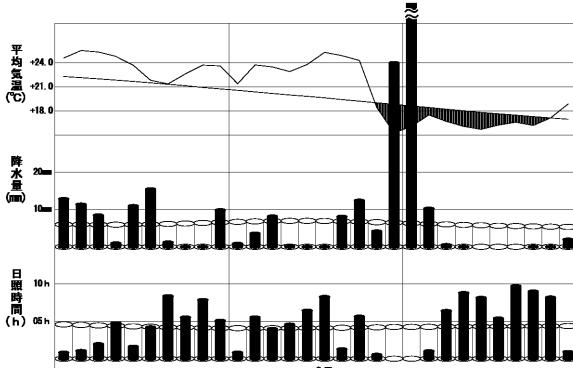
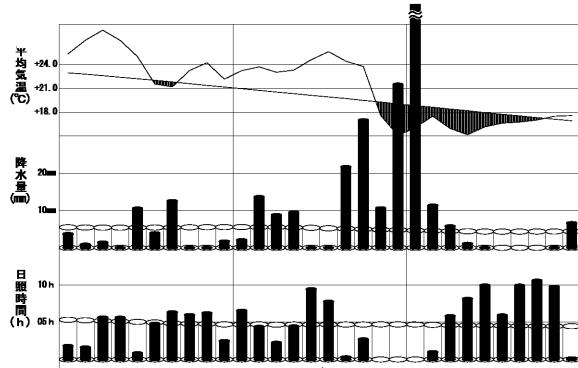
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2011年9月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2011年9月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	白河	446.5	217	437.1 (1958)	1940	205.8
2	青森	345.0	281	388.9 (1958)	1882	122.7
	石巻	341.5	238	416.5 (1994)	1887	143.2

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	若松	187.9	142	191.1 (2007)	1953	132.1
	白河	153.3	135	164.4 (1975)	1940	113.6

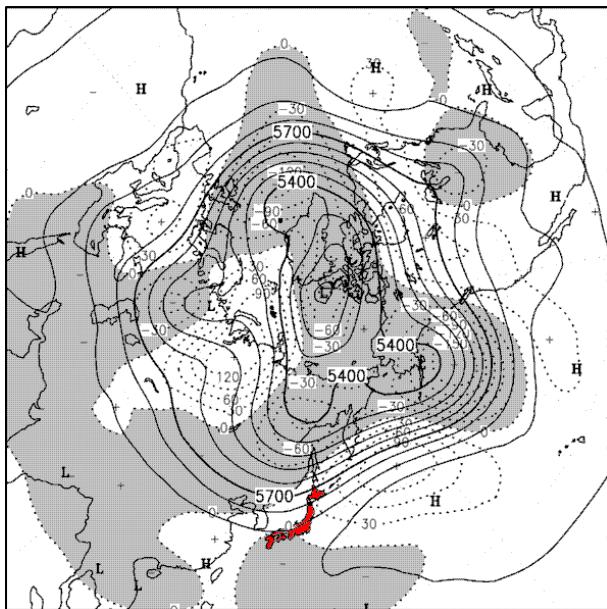
月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(7) 2011年9月の循環場の特徴

500hPa 高度は、千島の東付近が顕著な正偏差で、日本付近は正偏差におおわれ、太平洋高気圧の北への張り出しが平年より強かつた。中国東北区付近には負偏差がみられ、西谷となつた。

東北北部は、前線が停滞したため曇りや雨の日が多くつたが、東北南部は高気圧におおわれて晴れの日が多くつた。また南から暖かく湿った気流が入つたため高温となつた。



2011年9月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。
陰影部は負偏差(寒気に対応)